

山形 浩史 (博士)

緊急事態対応局長

原子力規制委員会 (NRA) 日本



山形浩史氏は、日本の原子力規制委員会 (NRA) において緊急事態対策長を務めております。彼はチームを率いて東京電力福島第一原子力発電所の監督、原子力発電所の再始動に関する安全性の見直し、重大事故の防止・軽減の観点から原子力事故の準備・対応を任されています。過去、原子力安全・保安院 (NRA の前身である NISA) で核燃料管理規制課の課長を務め、その後、NRA で国際課長、安全規制管理官 (PWR、BWR 担当) を歴任した。福島第一原子力発電所の事故直後に東京電力本社に派遣され、保安院職員や東電技術者を指導して事故の収束に当たり、2011 年 12 月に内閣総理大臣補佐として事故の収束を宣言した。

2012 年 3 月に福島事故の原因・教訓を含めた技術報告書を提出し、2013 年 7 月 8 日施行の過酷事故を考慮した新しい原子力発電所規制要件の草案を策定した。

過去には国際原子力機関 (IAEA) 及び、経済協力開発機構 (OECD) の原子力機関 (NEA) に勤務した経験もある。

1997 年、京都大学エネルギー応用工学専攻課程で博士号 (工学) を取得。

1962 年、大阪生まれ。既婚、娘が三人いる。